

2022年3月20日(日) “第4回 みんな元気かい(会)ワクワク講習会”

オール近大新型コロナウイルス感染症対策支援プロジェクト: 「近畿大学発“市民と築く真なる実学の府 ボーダーレスラボ推進”

2022年3月21日(月) “第117回臨床漢方薬理研究会”

(いずれも代表:日置智津子 社会連携推進センター)

誰もがwell-beingを探求し、SDGs達成を目指す今です。しかしながら、目にするには、あまりにもつらい国際紛争、長引くコロナ感染とその予後対応の難しさに、戸惑う私達の姿が、今ここにあるのです。

ガイア(地球・私達の生命;自然)は変化し続けます。全身全霊で自然の摂理を学び、植物・生物を愛おしむ時間と空間が共有されれば、私達が抱える、今の苦痛から、少しでも解放され、幸福や健康につながる術を見つけることができるでしょう。京都薬用植物園(武田薬品工業株)の、素晴らしい自然の息吹を感じながら、参加の皆様との体験を少しご紹介します。

五感をくすぐるような恋の歌を紹介…想像力を働かせて!



収まらないコロナ感染、理不尽な国際事態、経済的急変、自然災害への恐怖など、それらの情報を浴びるだけでも、私達の身体は不調をきたします。ネットで漢方薬を購入される方、増えています。「瀉心湯類」の種類や使い方について、お話をしました。良く知って、活用しよう東洋医学!です。



お話の中にあつた生薬植物等、実物を観察。自然豊かな薬用植物園での「学びと、自然のエネルギーに癒される体験」です。



万葉集に、海石榴(つばき)の文字が見られます。紫根(生薬)の色を繊維に定着させるため、染色には椿の枝葉の灰を使用します。その昔、三輪山あたりには椿が多く、桜井市付近の市場には、人や物が集まり、豊かな交流、人の営みがありました。何とも、五感をくすぐるような言の葉で告げられた高貴な恋の歌でしょう…。古より、衣食住、そして心の世界でも植物はひと役担っていますね。3月末頃、京都薬用植物園では、日本のツバキの花(約600種)が咲きます。各々付けられた椿の名前も魅力的。植物学、文学、化学、芸術等々と、学際的に楽しめます。





椿：土佐有楽



椿：月光

種の保存のため、育てられた椿。
命名された名前にも思いを馳せて観察します。



“自分だけのお気に入りマスク“作って楽しもう！
マスクの作り方を、手ほどき。



鉤葛（かぎかずら）



木瓜(ボケ) ‘安田錦’



みんな元気かい！（会） “はい、チーズ！”

次回、皆様もご参加頂き「誰一人取り残さない幸福の和(輪)」を作っていければ、幸いです。



武田薬品 京都薬用植物園*
では、学部を問わず、大学生・
院生を対象にイベントを開催。
内容問い合わせ、申し込みは
左記まで。

* この、オール近大プロジェクトは、コロナ感染収束後の社会
を考え、また SDGs 達成に向け、京都薬用植物園と共同
研究を行っており、私達の未来の生活（衣食住）や、生存
に欠かせない、植物育成、活用のこれからを考えています。